

西宮市議会議員

宮本けいこ通信 vol.4

想いつなぐ



現在2期目、健康福祉常任委員

子育て真っ最中!! 3児のママ議員

日々の活動はこちらから▶



Instagram X (旧Twitter)▶



健康福祉常任委員会の勉強会（講師：玉木幸則さん）
「障害の社会モデルと障害者共生条例について」

宮本けいこは「健康福祉常任委員会」に所属しています。所管は民生委員などの地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、成年後見制度・生活保護などの生活支援ほか、各種健康診査、フレイル対策などの市民の健康づくり、保健所です。市民の皆様の健康を第一に取り組んでまいります。

西宮市立中央病院と兵庫県立西宮病院が統合する新病院の建設（アサヒビール跡地）はようやく工事が始まり、**新病院開院は令和8年度上期の予定**。また新病院と阪神国道駅の間には**大塚中公園（仮称）も新設**されます。

令和4年度決算について

9月議会で発表された前年度決算は一般会計の実質単年度収支が42億円を超える赤字となりました。財政基金（貯金）の取り崩しも約21億円あり、極めて厳しい状況が明らかになりました。市は「赤字基調である財務体質の改善が急務」とし財政構造改善に取り組み経費の削減をする方針です。中でも必要な住民サービスは確保するように求めてまいります。

詐欺被害防止のための電話録音装置を無償配布中！

市内でも特殊詐欺被害が増えています。未然に防ぐ手段の一つとして、固定電話機に外付けする**自動通話録音機**を無償配付しています。対象は70歳以上の方、又はその方と同一世帯の方（要申請・郵送）

呼び出し音が鳴る前に相手に対して「この電話は振り込め詐欺などの犯罪被害防止のため会話内容が自動録音されます」と警告メッセージが流れ、受話器を取ると以後の通話を自動的に録音する機能を備えています。



白水峡合葬式墓地

（西宮市立白水峡公園墓地 中央円地内）

合葬式墓地とは、他の方のご遺骨と一緒に納骨する一つの大きなお墓（施設）です。合葬室と一時安置室に分かれています。

供用開始は令和6年4月1日以降、現在使用者募集中です。

詳しくは市のホームページ、斎園管理課（35-3306）まで

自転車ヘルメットの購入応援事業（兵庫県の事業）

65歳以上の方、1～18歳までの子どもとその親（子どもは人数分、親は1人分）、19～29歳までの学生の自転車ヘルメットの購入補助。申請期間は令和5年12月上旬～令和6年2月上旬（予定）。

詳しくは県のホームページで



宮本けいこ プロフィール

1979年4月生まれ 津門稲荷町在住（立憲民主党所属）
大阪市立工芸高等学校 ビジュアルデザイン科卒
結婚後、平成医療学園専門学校 鍼灸師科卒
鍼灸師・障害者スポーツ指導員
西宮市立津門小学校・今津中学校PTA総務役員

2021年7月、西宮市議会議員だった夫（宮本かずなり）が会議中に脳幹出血で倒れて意識不明に。そのまま息を引き取った。その日から突然3人の子どものシングルマザーに（子ども1歳、6歳、12歳（当時））。夫の遺志をつなぎ、またひとり親や立場の弱い人に寄り添いたいと立候補を決意。

2022年3月西宮市議会議員補欠選挙で初当選。2023年4月西宮市議会議員選挙で4,229票のご信託を賜わり2期目当選。健康福祉常任委員会委員、西宮市社会福祉審議会委員（高齢者福祉専門分科会）

3歳の保育園児（やんちゃ!）、8歳小学生、14歳中学生を育てながら日々議員活動奮闘中!

ご意見・ご相談はこちらまで

メール・・・miyamoto.keiko4@gmail.com
TEL/FAX・0798-34-1760



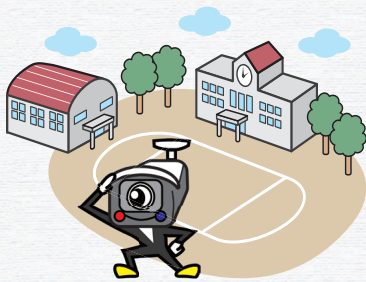
6月定例会で一般質問を行いました。裏面もご覧ください▶



① 学校園の安全対策について

宮本：今年6月に大社中学校で不法侵入があった。他市では不法侵入者による切りつけ事件も発生した。児童・生徒・教師等の安全を守るため小・中学校の門扉をオートロック化できないか。

答弁：オートロックシステムや監視カメラなどの設置を含め、学校における有効な安全対策について検討していく。



宮本けいこの提案

小学校では警備員が不在となる時間に対する不安の声が多くあります。中学校では空いている教師の見回りで警備そのものがありません。学校の性善説を信じるのではなくハード面では閉じていく、ソフト面では開いていくという大きな考え方で安全は確保すべきと考えます。



② 地域のつどい場運営支援について

宮本：高齢化や単身世帯の増加が進む中、地域のつながりが希薄化している。また、子どもや若者の居場所も必要とされている。つどい場の運営を市でサポートできないか。

答弁：運営を継続していくためには活動費の確保が課題であると認識している。引き続き効果的な支援の在り方について研究していく。

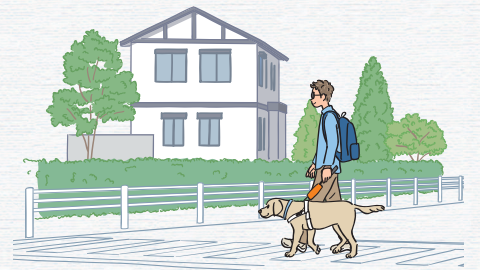
宮本けいこの提案

多世代が集える共生型地域交流拠点も市内36か所の開設を目指す中、現在9か所となっています。空き家バンクも活用しながら地域につどい場が開設しやすくなるようサポートをお願いしたい。

③ 障害の理解と施策について

宮本：令和6年4月より事業者の障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化される。本市ではすでに条例が施行されているが、これを機に再度周知し、障害の理解を深めるべきでは。

答弁：あいサポート運動の取組と併せ、産業文化局に市内の企業等へ配付する広報誌に掲載協力を依頼するなど、積極的に提供支援事業の周知を進めていく。



宮本けいこの提案

合理的配慮とは工夫や調整で使いやすくすること。例えば段差があればスロープの設置など。社会の中にある障害と一緒に考えて使いやすくすることで、障害のある人も暮らしやすくなります。事業者等への周知をお願いしたい。

津門地域 トピックス

西宮市立津門保育所・津門児童館が 10/23にリニューアルオープンしました！

昭和46年に建てられ老朽化のため、建て替え工事が行われていた「津門保育所・津門児童館」が完成し、子どもたちの元気な声が戻ってきました。また津門小学校内の留守家庭児童育成センター（学童保育）の「津門第1



津門保育所・児童館完成！



津門第1育成センター



津門第2育成センター

育成センター・第2育成センター」も老朽化で建て替えのため、年明けから取壊しが始まる予定です。工事期間中、取壊しに先駆けて子どもたちは12月中旬より教育会館跡地の津門保育所仮園舎を改装した仮の育成センターを利用します。令和7年春に津門第1～第5センターとして完成予定です。



宮本けいこは皆さまの声を市政に届けます
皆さまの想いを聞かせてください。ひとりひとりの声を届けます
困ったときに困ったと言える社会、助けての声が届く西宮へ